

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービスORANGE			
○保護者評価実施期間	令和8年 3月1日		～	令和8年3月31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	12名	(回答者数)	9名
○従業者評価実施期間	令和8年 3月1日		～	令和8年3月31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5名	(回答者数)	5名
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年 4月1日			

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・毎日変わるプログラムで様々な成功体験を積み、児童が新鮮な気持ち手取り組めている環境を整えている。	・活動プログラムについて職員間で共有し、児童の状況に応じて調整・工夫しながら実施している。	・活動プログラムのねらいを明確化するため、計画的な研修の実施や事例検討を通して職員の専門性向上を図り、支援の質の均一化と向上につなげる。
2	・一人ひとりの個性や特徴を尊重し「そのままでいい存在」として受け止める関わりを大切にしている。児童の持つ多彩な強みや可能性に寄り添いながら、成功体験を積み重ね、「できた」を増やす支援を実践している。	・当たり前に出てきていることにも着目し、認める関わりを通して自己肯定感の向上に繋げている。	・職員が余裕を持って関わられるよう、業務の見直しや、協力体制の強化を図る。
3	・アセスメントや日々の記録を基に、児童の状況を把握し、根拠のある支援を行えている。	・日々の記録を職員間で共有し、児童の変化や気づきを支援に反映している。さらに、個別支援計画と日々の支援の連動を意識することで、根拠に基づいた一貫性のある支援を実施している。	・事例検討や研修を通してアセスメント力や支援の組み立て力の向上を図るとともに、記録の質を高め、支援の根拠や子どもの変化が明確に把握出来るようにする。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・保護者交流会や地域との交流について企画・実施が十分に行えていない。	・日常支援に比重が偏り、交流活動の優先順位が低くなっていることや、目的やねらいが明確でないことが要因と考えられる。	・地域交流については、老人ホーム等との交流イベントの実施を検討し、地域とのつながりを深めていく。また、保護者交流会については、実施方法や内容を検討し、参加しやすく有意義な取り組みとなるよう工夫していく。
2	・情報発信については連絡帳を通して実施しているが、発信手段が限定されており、事業所全体などを広く発信する取り組みとしては十分とは言えない状況である。	・連絡帳中心の発信となっており、事業所全体としての情報発信の方法や仕組みが整っていないことが要因と考えられる。	・公式LINEの導入を検討・実施し、施設情報や活動の様子を定期的に配信できる仕組みを整え、継続的な情報発信に繋げていく。
3			